

授業科目名 教養ゼミナール Seminar in General Education	科目区分 教養ゼミナール		授業コード 080042
	単位数 2	時間割 前水3	
講義題目 Webコンテンツとプログラミング Web Contents and Programming	対象年次及び学科 1年 全学部		
	関連授業科目		
教員名 香川 考司 (工学部)	履修推奨科目		
授業概要 このゼミではインターネット（特にWorld Wide Web）で利用されるグラフィックス・アニメーション・プログラミング言語などに関する新しい規格・ツールなどについて調べ、それを利用してコンテンツやプログラムを作成します。ツールは基本的にフリー（無料）で利用できるものを利用します。 利用する規格・プログラミング言語の例として、JavaScript, Java, SVG, Flash, X3Dなどが考えられますが、それ以外のものを利用しても、もちろん構いません。			
授業の目的・達成目標 新しい技術は、それに関する体系的な教科書などは出版されていないのが当然で、雑誌の記事やインターネット上の断片的な情報を自分で検索し、収集整理する必要があります。また、グループで作業するためには調べたことを他人にわかり易いようにうまくまとめて伝えることも必要になります。 このゼミでは、このような能力を身に着けることを目標とします。			
授業及び学習の方法 最初の数回は講義形式でテーマの例を提示します。その後はグループに分かれてテーマを設定し、情報を収集します。情報収集の作業は基本的に授業時間外に行います。1回目の発表でいちど調査結果を発表し、グループ間で質疑応答します。2回目の発表では1回目の発表の結果を利用し、コンテンツを作成し発表します。3回目は別のテーマで調査し、コンテンツの作成まで行います。またコンテンツの作成方法などを最終的にレポートとして提出します。ただし、発表回数は受講者数や発表の進行状況で変更することがあります。			
成績評価の方法と基準 発表（50点）・最終レポート（30点）・質問や討論への参加（20点）で評価します。			
授業計画 (1) ゼミの進め方についてガイダンスを行い、グループ分けを行ないます。 (2) HTML、JavaScriptなどを例にとって、講義形式で説明し、いくつかの調査テーマを提示します。 (3) " " (4) 講義で提示したテーマ例や各自で持ち寄ったテーマを検討し、各グループの調査テーマを決定します。 (5) （第1回発表）各グループの調査結果を発表します。 (6) " " (7) 第1回発表の補足発表を行います。質疑応答を行い、第2回発表のテーマを調整します。 (8) （第2回発表）各グループの成果（調査結果と作品）を発表します。 (9) " " (10) 第2回発表を補足・質疑応答を行い、第3回発表のテーマを調整します。 (11) （第3回発表）各グループの成果（調査結果と作品）を発表します。 (12) " " (13) " " (14) " " (15) 第3回発表を補足・総括し、今後の課題をまとめます。			
教科書 特に指定しません。必要に応じてプリントを配布します。			
参考書 必要に応じて、授業中指示します。			
オフィスアワー 水曜 10:20～11:20			
履修上の注意 プレゼンテーションにはノートパソコンを使用します。工学部以外の学生の人は相談して下さい。 ゼミナールは参加型の授業ですので、無断欠席は認められません。欠席は必ず連絡してください。			